



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2011推進ニュース

－介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！－

方針「今後の介護ウェーブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう！

介護保険制度の抜本改善を求める取り組みを全国各地で取り組もう！ 「介護保険法改正案」の衆議院厚労委員会での審議は20日に開始

自民党、公明党と足並みがそろわずに中止となっていた、「介護保険法改正案」（介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案）の審議が、5月20日（金）に衆議院厚生労働委員会で開始されることが決まりました。20日（金）は9時から6党（民主、自民、公明、共産、社民、みんな）による質疑が3時間程度行われる予定です。また、24日（火）は9時から参考人による意見陳述と質疑が行われます。厚生労働委員会の審議の模様は、「衆議院インターネット中継（<http://www.shugiintv.go.jp/>）」で視聴することができますので、各政党の「介護保険法改正案」に対する主張を全国各地からも確認し、地元選出の国会議員にも働きかけていくことが必要です。引き続き厚生労働委員を中心とする国会議員に対し、拙速な審議をゆるさず、「介護保険10年」にふさわしい十分な審議と現行制度の抜本的改善を求めていく取り組みがたいへん重要になっています。

第2次「介護ウェーブ緊急国会行動」に35名が参加－51名の議員に陳情



「介護ウェーブ緊急国会行動」の第2次（5月17日）は、21老福連（21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会）の正森克也事務局長ら3名も駆け付け、11県連から関係者も含め35名が参加し、衆参の厚生労働委員51名を訪問して、拙速な審議で採択に持ち込むのではなく、十分な審議を行うよう要請しました。閉会挨拶で山田智副会長（全日本民医連）は、今日の行動で3名の議員に直接、陳情することができたことを評価し、「秘書の対応で怒りたくなることもあるが、あきらめないことが重要」と、粘り強い取り組みの必要性

を強調しました。また、今日の経験と感じたことを現場の仲間に伝えると共に、多くの職員を国会行動に送り出すことと併せ、「それぞれの地域でも市民や地方議員、そして、自治体にも問題点を伝え、改善の声を地方から国に上げさせる取り組みも展開し、引き続き介護ウェーブを頑張っていこう」と、呼びかけました。この日は、全国の利用者・家族などの想いが詰まった署名約29,000筆を田村智子議員（参議院議員・日本共産党）に託しました。

こちらの話を聞こうとしない議員秘書の対応に、緊張が怒りに変わった

参加者から、「初めての参加で、頑張って集めた利用者、家族の想いが詰まった署名を、自分の手で直接、議員に渡せたのが嬉しく、もっともっと頑張ろうと思った。また参加して積極的に頑張りたい（福井）」、「署名に込められた想いを、秘書ではあるが伝えることができて良かった。どうなるのかを見ているのではなく、どうしていくのかという想いで行動することが重要と感じた（埼玉）」、「始

発の飛行機で人生 2 度目の東京に来た。自分たちの陳情を真剣に聞いてくれる人とそうでない人ももいたが勉強になった（鹿児島）」、「話をしっかりと聞いてくれない秘書もいて、大変な思いをしている現場からの声が政治家にはなかなか通じないんだと思った。もっと、草の根の運動で裾野をひろげていく必要があると思う（北海道）」、「初めての参加だったが、秘書の対応はハイハイと言うばかりで、軽く流されてしまうんだなと思った（山梨）」、「人生 2 回目の東京で国会議事堂も生で見てびっくりと、始めは緊張の連続だった。しかし、こちらの話を聞こうとしない議員秘書の対応に、緊張が怒りに変わった。国民の代表で議員になっているのだから、しっかり対応してもらいたいと思った（大阪）」、「毎年、国会行動に参加しているが、議員会館だけが立派になって、さらに議員専用のフィットネスクラブもできている。今まで一度も議員に直接会えたことはないが、声を出し続けていかないと変えることはできない。署名などを通じて国民の声をまとまった力にし、繰り返して続けていくことが必要。ともに頑張っていこう（21 老福連）」等の感想が出されました。

3 次の行動は、本日、午後に開催し 3 名が参加予定で、明日 5 月 20 日（金）は厚生労働委員会の傍聴、4 次は 5 月 24 日（火）に、厚生労働委員会傍聴、5 月 26 日（木）に国会議員要請行動を行います。「新署名」は5月末を節目に全国で10万筆を目標に取り組み、介護保険制度の抜本改善を求める取り組みを具体化して、国会行動にも結集し、「介護ウェーブ 2011」のビックウェーブを全国各地で起こしていこう！

■ 当面の「介護ウェーブ緊急国会行動」の日程

- 2011 年 5 月 20 日（金）9:00～、24 日（火）9:00～ 衆議院厚生労働委員会傍聴行動
- 2011 年 5 月 26 日（木）14:30～17:00 国会議員要請行動

街頭署名行動に35名が参加！新入職員も大奮闘で457筆集まる（熊本）



好天に恵まれた5 月 7 日（土）に、下通りパルコ前で介護署名の街頭宣伝行動を行いました。熊本ブロック 8 か所の事業所から看護、介護、ケアマネジャー、事務、ケースワーカー、放射線技師の 35 名に、職員の子供も 4 人参加し、全体で 457 筆を集めました。1 時間の署名行動の中、済々黌高校のパレードで中断しながらも、今回の行動には、くわみず病院の新入職員のケアワーカーと看護師も参加し大奮闘しました。

また、熊本民医連事務局長は、51 筆を集め当日のトップでした。今回の行動で、くわみず病院と県連は目標を達成しました。新署名は 5 月末までの短期の取り組みです。引き続き取り組みを強めています。（くまもと介護ウェーブニュースNo. 35 2011. 05. 09 より）

春の総訪問行動で介護に対する不安の声が多く寄せられる（北海道）

北区ぽぷらクリニックと友の会は、北在宅、しのろ在宅、きたく歯科、ひまわり薬局とも協力し、5月9日～13日に、「無料低額診療の普及・友の会健診紹介、介護保険改悪阻止・春の総訪問行動」を取り組みました。9日、10日は北区内の市営住宅を 58 戸訪問し、9日は介護署名 13 筆、医療署名 8 筆が集まりました。また、住民から介護に対する不安の声が多く寄せられました。「8年前に夫が他界、脳卒中で右足が不自由。介護保険は利用していない（72歳）」、「夫の介護で金銭的に不安。施設に入れたいが、年金 12 万円では入れなくて困っている（女性）」といった声や、そもそもひき姿で出てきた高齢者は、「保険かけて保険が使えないなんて、許されないよ！」と怒りを訴えてきました。（北海道勤医協「共同デスク」No. 530 2011. 05. 11 より）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp